

研究開発「格納容器漏えい箇所特定技術・補修
技術の開発」にて開発中のS/C（圧力抑制
室）上部調査装置の実証試験における
1号機 S/C上部調査結果について

2014年5月29日
東京電力株式会社



東京電力

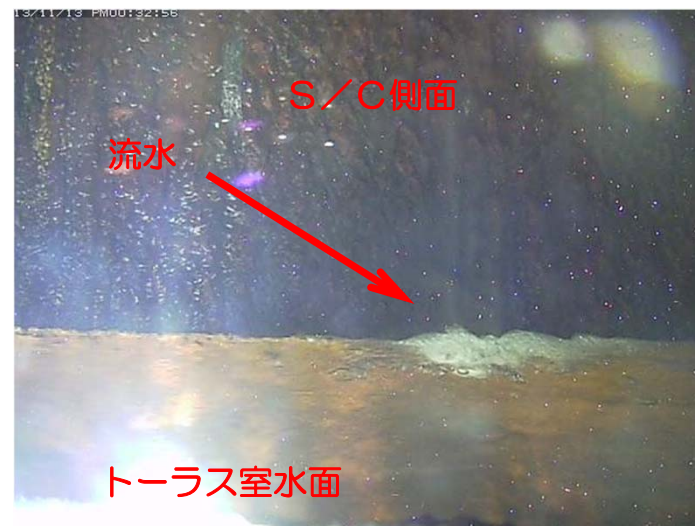
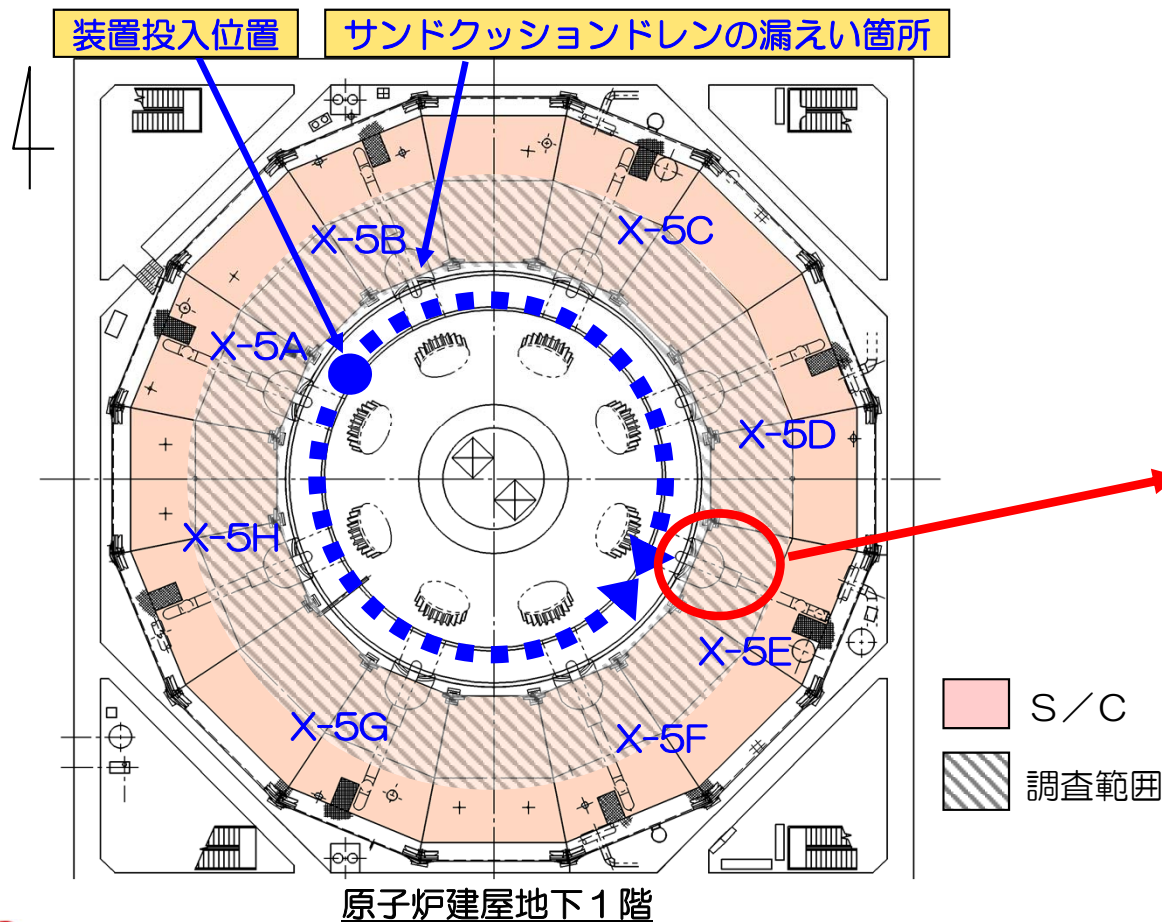
IRID

本資料の内容においては、技術研究組合国際廃炉研究開発機構 (IRID) の成果を活用しております。

H25年11月の水上ボートによるS/C内周側調査について

- H25年11月 PCVベント管下部調査として、S/Cの内周側の漏えいの有無を確認。
 - S/C上部（X-5E近傍、南東）から流水を確認。
 - サンドクッションドレン（X-5B近傍、北西）からの流水を確認。

S/C上部（X-5E近傍）漏えい箇所の特定を行う



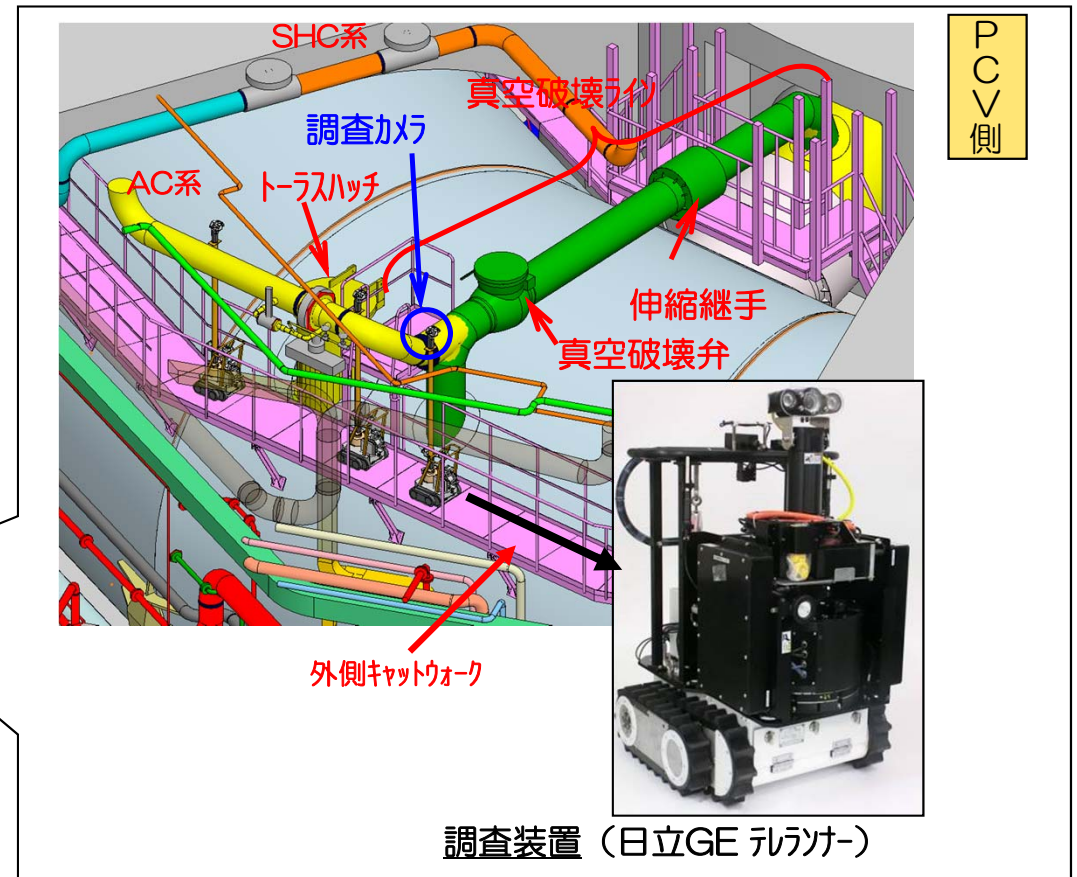
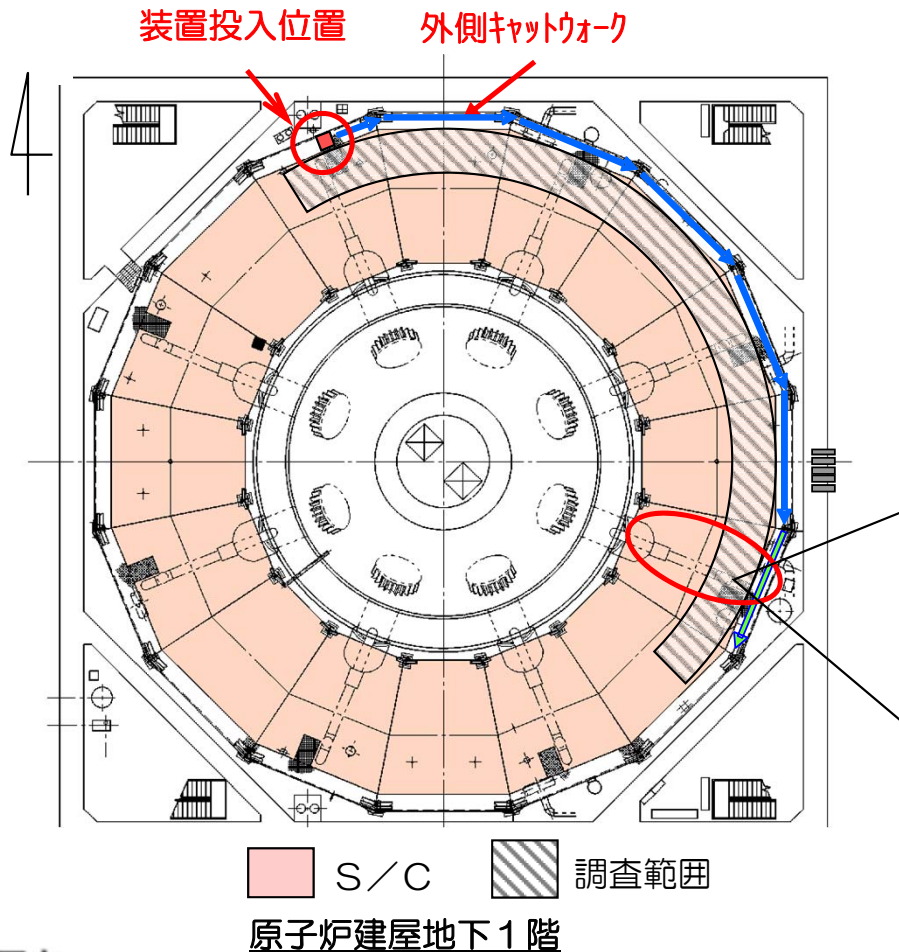
S/C内側の流水箇所



調査概要

資源エネルギー庁 補助事業「格納容器漏えい箇所特定技術・補修技術の開発」で開発中のS/C上部調査装置を1号機原子炉建屋1階北西エリア穿孔箇所より投入し、外側キャットウォークから調査を実施。

- S/C上部（X-5E近傍）の漏えい箇所の特定
- S/C上部外周側の確認 * 5月27日 北側外周を実施

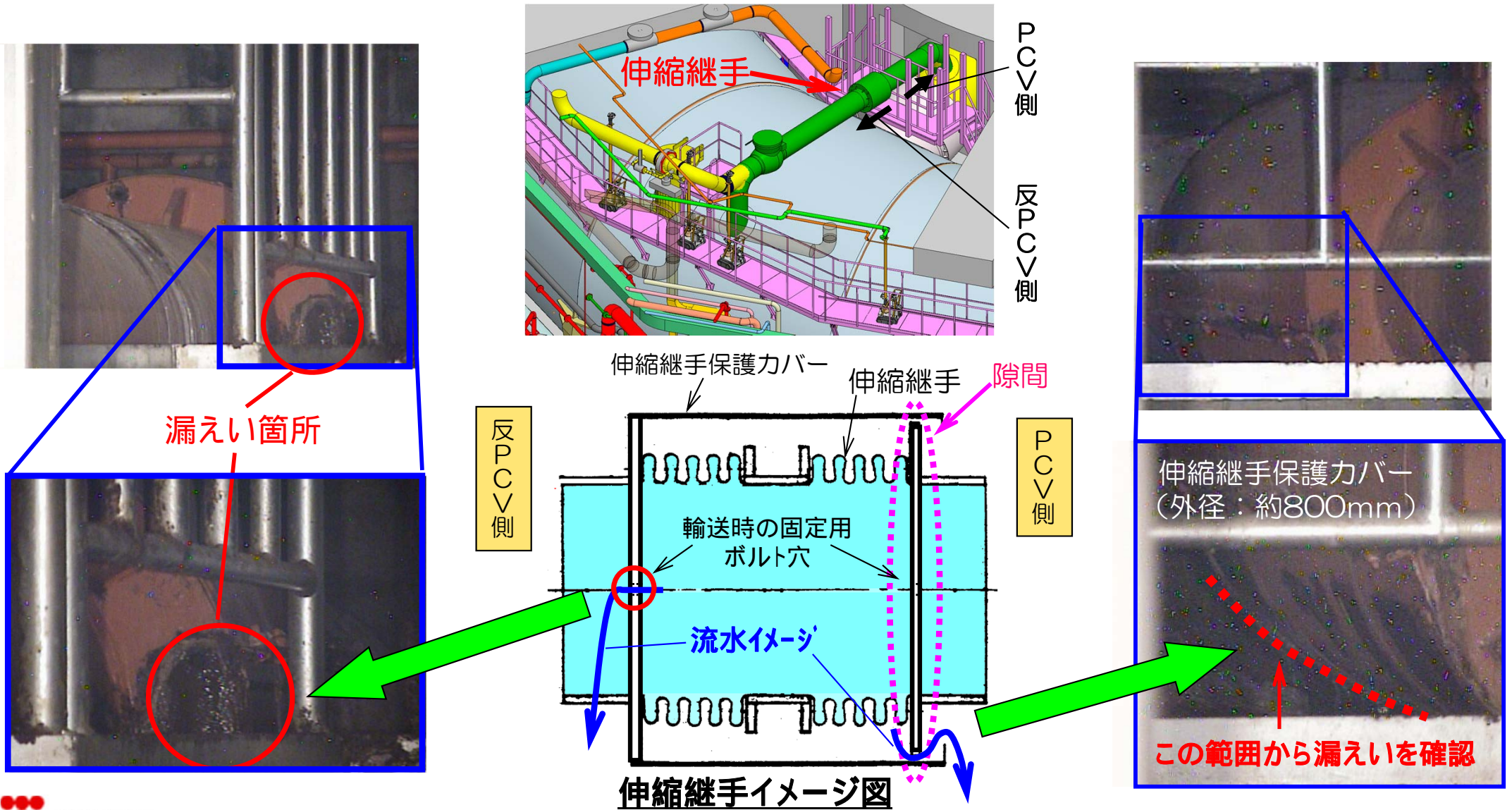


S/C上部調査イメージ図

調査結果-1

■ S/C上部 (X-5E近傍) の状況

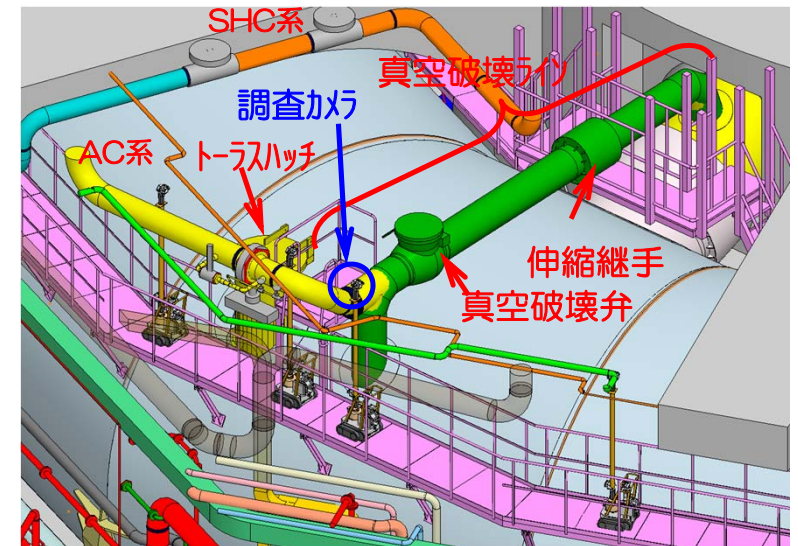
- 真空破壊ラインの伸縮継手保護カバーのPCV側と反PCV側からの漏えいを確認。



調査結果-2

■ S/C上部（X-5E近傍）の状況

- 真空破壊弁・トーラスハッチ・SHC系配管・AC系配管に漏えいは確認されなかった。



調査結果-3

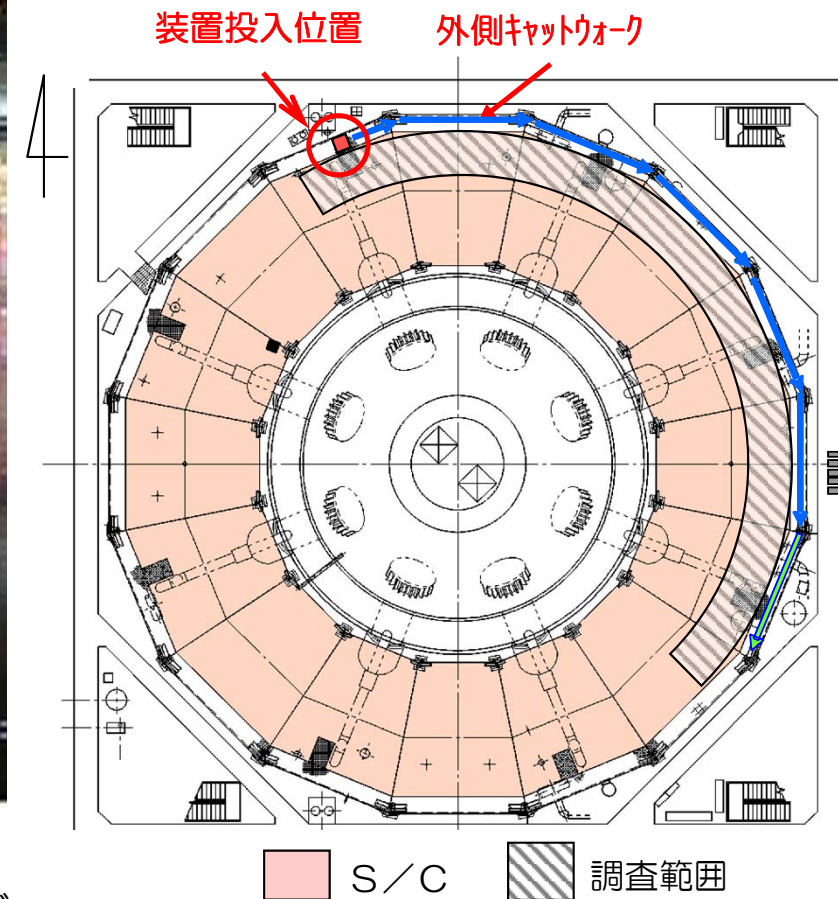
■ S/C上部外周（北側）の状況

- 漏えい・機器の著しい損傷は確認されなかった。



代表写真

注) 調査装置操作の広角レンズのカメラのため、画面端部の方が湾曲して写っている。



今回の調査結果を今後の格納容器水張りの向けた調査および補修（止水）計画に反映していく。